

アニメーテッドラーニング Online meeting ALL Dk+Jp

2022年6月23日 20時～21:50、Zoom

デンマークでアニメーテッドラーニングをはじめた、アニメーションワークショップ・アニメーテッドラーニングラボ(The Animation Workshop | VIA-Animated Learning Lab)のディレクター、Hanne Pedersenさんとプロジェクトマネージャー、Laura Søndergaard Isaksenさんがプレゼンテーションをおこない、日本語を教える先生たちと意見交換をしました。



Animated Learning Lab について

<https://animationworkshop.via.dk/en/research-and-development/animated-learning>

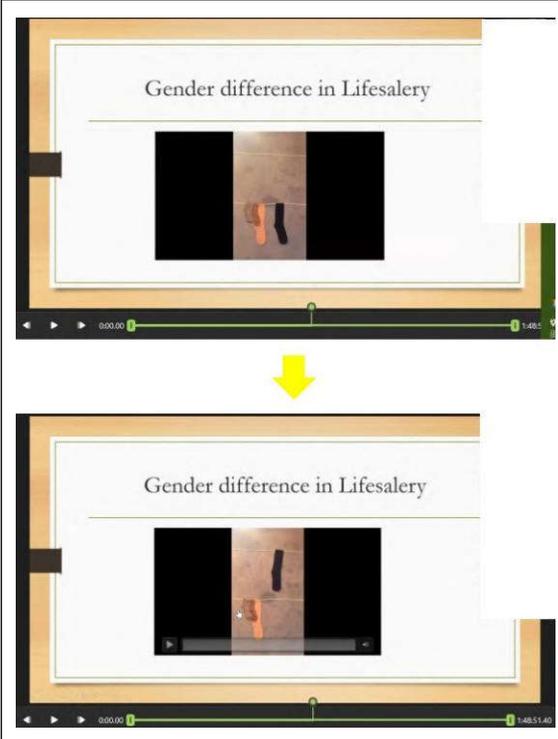
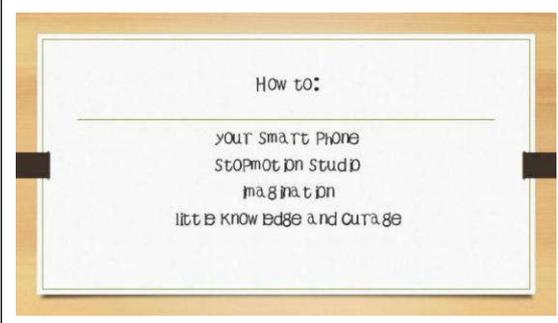
Animated Learning 紹介ビデオ(英語版)

<https://www.youtube.com/watch?v=P-N87vrY72A>

Hanne Pedersen プレゼンテーション 前半 抜粋

	<p>これからアニメーテッドラーニングの「スペシャルワールド (Special World)」を紹介します。</p> <p>スペシャルワールドとは、子どもたちが自由にクリエイティブワークに集中でき、創造的なエネルギーを発散できる場です。 多くの子供たちは「絵が描けない」と言います。 左は図書館から譲り受けた古書の切り抜きのコラージュです。</p>
	<p>特別な道具は必要ありません。 左の写真では、スマホをイスに置き、床に置いたオブジェクトをコマ撮りしています。 コマ撮りには無料アプリ「Stop Motion Studio」を使います。 ほかには、紙、エンピツ、カラーペンや絵具、ハサミ、糊など、身近なものを使えます。</p>
	<p>スペシャルワールドでは、子どもたちが見聞きしたことに彼らなりの自由な解釈ができます。 それが間違っている、周りが「ダメ」と言うべきではなく、子どもが自分が発見したこと、創造したことに幸せな気持ちを抱くことを重視しましょう。 科学的な事象でも、正確さだけでなく、子どもが得た知識を自分たちの世界、自分たちの視点で解釈して絵にするのです。</p>
	<p>アニメーションではタブーも表現できます。 拒食症グループとのワークショップでは、子どもたちが他の人に見せたいと思う映像を作りました。 自らの問題を自分で映画にして見せることへの抵抗感はありませんでした。 子どもたちが「自分は何でもできる」という自信、自尊心を得ることが鍵となります。</p>

	<p>ビジュアルライゼーション(視覚化)のできる例をもう一つ。 「Dragon(龍)」という文字を書くとなると、一通りしかありません。正しく書かなければ、間違いです。 しかし子どもに幾通りもの Dragon を自由に描いてと言えば、子どもたちはそれぞれの Dragon を描き、それらすべてが正しいのです。 ビジュアルライゼーションには個性が現れます。描き手の個性に触れられます。</p>
	<p>インクルーシブ教育でもアニメーションは使えます。 たとえばディスレクシア(読み書き困難)の人たちの表現手段です。 ディスレクシアの子どもに学校で学んだことを聞いたら「諦めること」という答えが返ってきました。哀しいことです。 文字が理解できずとも、言葉を絵として理解している人がいます。 ビジュアルライゼーションを文字の代わりとするなら、絵の描き方を学ぶことになるでしょう。 時に、絵は千の言葉(文字)より意味を持つこともあるのです。</p>
	<p>伝わる映像にはテクニックも必要です。</p>
	<p>絵だけでも伝わるのに、なぜ時間を掛けてアニメーションをつくるのでしょうか？ それは「動き」が理解を深めるからです。 人間は「動き」に注目します。 左の絵は草むらにライオンが描かれていますが、映像でライオンがこちらに飛びかかって来たら、無意識に身を避けるでしょう。あるいは蛇が草むらを動いていたらどうでしょう。</p>
	<p>絵、ビジュアルライゼーションするにはシンボルを用います。 左の曲線は何に見えますか？ 絵に描き足しをして、何かを表現する。 曲線は「喫煙用のパイプ」になります。 「動き」を加える。たとえば、タバコの煙を燻らせるなど、シンボルの意味がより明確になります。</p>

	<p>左は、世界中からデンマークの ALL に集まった大人たちが作成した、とても短い動画です。 生涯年収の男女差を伝えています。</p> <p>アニメーションにするには、伝えることをじっくりと整理し、考えます。 この例では統計など、資料にも当たりました。 多くのシンボルと動きを用いて、文字がなくても作者の意図が伝わります。</p> <p>このアニメーションでは： 洗濯されたピンクと黒の靴下、大きな靴下と小さな靴下、上下に渡された 2 本の物干し縄。 動きでは、大きな黒い靴下だけが下から上の縄へピョンと飛び上がります。</p>
	<p>ビジュアライゼーション、アニメーションを作るのに大掛かりな道具は必要ありません。</p> <ul style="list-style-type: none"> スマホ 無料アプリ「Stop Motion Studio」 イマジネーション(想像力、創造力) 知識と勇気を少しだけ <p>後半で「10 分間でもできるアクティビティ」を紹介します。</p>

プレゼンテーションでは記録ビデオや参考アニメーションが紹介されましたが、本報告では著作権等の関係で割愛しました。

アニメーションのテクニックや基礎知識については、Animated Learning Lab が作成した「Animation Cards」を参照してください。

Animation Cards (デンマーク語版)

<https://animatedlearning.dk/animated-science/>

Animation Cards (英語版)

<https://issuu.com/animationworkshop/docs/enganimationcards>

本報告は Animated Learning Lab の Hanne Pedersen 氏がおこなったプレゼンテーションをアニメेटドラーニングらぼが再構成しました。

無許可の転載、複製、転用等のご遠慮ください。